

袖ヶ浦市音楽協会第103回定期演奏会（個人会員部門）

ガウラコンサート vol. 13

明日への希望



2022年8月11日（木）14：00開演（13：00開場）

袖ヶ浦市民会館大ホール

後援：袖ヶ浦市教育委員会 木更津市教育委員会 君津市教育委員会

ごあいさつ

袖ヶ浦市音楽協会の個人会員部門として発足したガウラコンサート。昨年、一昨年は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、今回、第13回目のコンサートを迎えます。これも皆様方のご支援あってのことと感謝しております。

今回の特別企画は、～明日への希望～と題し、出演者全員で、“スタジオジブリ”作品の中から、その挿入歌としておなじみの曲を演奏いたします。子供さんから大人までお楽しみいただけるプログラムとなっておりますので、最後までごゆっくりとお楽しみください。

袖ヶ浦市音楽協会個人会員一同

<第Ⅰ部>

1. 尺八・箏・十七絃三重奏「歎詩」(たんし) 作曲：松川利夫

尺八 井上 喜義 箏 山村 雅子 十七絃 井上 久子

漢詩より五つの詩を選び、それぞれの詩から受けとった感動を三重奏にまとめた作品。「詩歌を詠歎する」という意味から「歎詩」と題されました。五曲の内より四曲を演奏します。

- (1) 峨眉山月の歌 李白 峨眉山に半月のかかる秋、その月影は平羌江の水に映りともに流れていく。夜、舟で清溪を出て三峡へと向かう。君のことを思っても、その姿を見ることはできないまま、渝州へと下っていく。
- (2) 易水送別 賈誼 其の昔この地で、秦王政の暗殺を託された荊軻は燕の太子丹と別れた。勇ましい男たちは、髪が冠を突き上げたという。昔の人はすでにこの世にないが、今なお水だけは変わることなく冷たく張りつめている。
- (3) 事に感ず(對花) 于濶 花が開けば、蝶は枝いっぱいむらがってくるけれど、花が散ってしまったら蝶の姿はまばら。ただ古巣に巣くう燕だけが、貧しい主人のもとへと帰ってくる。
- (4) 江南の春 杜牧 千里のかなたまで鶯は鳴き、木々の緑は花々の紅(くれない)に照り映える。水辺の村、山沿いの町、風にはためく酒屋の旗じるし。南朝時代をしのぼせる四百八十の寺、たくさんの楼台が、霧雨のかなたに浮かんでいる。

2. (1) あなたとわたし 作詞：堀内 幸枝 作曲：中田 喜直

(2) オペラ 『マノン・レスコー』より「捨てられて一人淋しく」 作曲：プッチーニ
ソプラノ 梶 圭子 ピアノ伴奏 桜井 智子

最初の曲は、恋が終わる予感を思わせる歌です。燃えるような愛の二人でも、いつの間にかすきま風が吹いて、どうにもならない状態になっていく。そんな様子を歌っています。

二曲目は、すばらしい美貌の女と一途な男が繰り広げる愛の逃避行のオペラです。

老いた金持ちの愛人になっているマノンに一途に惚れる若者テ・グリュ。金持ちとの何一つ不足のないぜいたくな生活を送っているマノンですが、テ・グリュに心を寄せて不祥事を起こし、逮捕されます。

囚人となり、フランスの港からアメリカに追放される事になります。テ・グリュは女囚達が乗った船に見習い水夫として乗り込んで、一緒にアメリカに行きます。

やはりアメリカでも不祥事を起こして2人で荒野に逃れたものの、水も食料もなく、弱ったマノンを砂漠に一人残して、テ・グリュは水を探しに行きます。

3. (1) 恋 心 作詞：パスカル・ルネ・ブラン 訳詞：永田 文夫

作曲：エンリコ・マシアス

(2) いのちの歌 (NHK連続テレビ小説「だんだん」劇中歌)

作詞：miyabi (竹内まりや) 作曲：村松 崇継

テナー 大河原敏雄 ピアノ伴奏 吉川みくり

(1) 恋 心

東京オリンピックが行われた1964年、「夜明けのうた」でレコード大賞歌唱賞を得た岸洋子は一躍スターになります。

ところが、それと引き換えに彼との別れが待っていました。パリに去った彼を追いかけて1965年初めてフランスへ。住所も電話番号も分かっていた。けれど……。♪恋なんてむなしいものね 恋なんてなんになるの……。♪そのときフランスから持ち帰ったのが「恋心」。サンレモ音楽祭入賞曲です。

しかし23歳のとき発病した原因不明の病に入退院の繰り返し人生でもありました。

1970年。膠原病と診断された岸は「希望」を大切に歌っていたのです。

(2) いのちの歌

2008年10月から～2009年3月に放送されたNHK連続テレビ小説「だんだん」で、マナカナ（三倉茉奈&三倉佳奈）が歌っていた歌。素敵な人に出会えた時、その奇跡に感謝。新しい“いのち”が産まれた時、幸福に包まれ生きている事に感謝。大切なものを失い、絶望し打ちひしがれたとしても、この世界に生かされていることに感謝。全てに感謝。その素朴でシンプルなメッセージが珠玉のメロディーに響鳴しています。

作曲者の村松崇継氏は、「この楽曲を書いた時、父が亡くなり、この楽曲が持っている本当の深い部分に改めて気付かされました。今では、時と共にこの楽曲への想いも大きく成長しています。」と語っています。

4. (1) 夏の宵月 作詞:北原白秋 作曲:平井康三郎
(2) 鱒 作詞:シューバルト 作曲:シューバルト
(3) オペラ『リタ』より「この清潔で愛らしい宿よ」 作曲:ドニゼッティ

ソプラノ 小野寺汐莉 ピアノ伴奏 春川 直子

『夏の宵月』北原の詩集“日本の笛”からの一編になります。恋人を思うセレナーデです。南国プロバンスの夜、のような雰囲気漂わせる素敵な曲です。

『鱒』清流を勢いよく泳ぐ鱒を、ずる賢い漁師が罾を使って釣り上げる様子を歌います。この詩には、「世の中には誘惑がたくさんあるものだから、若いお嬢さんは気をつけなさい」という教訓が含まれていると言われています。

『この清潔で愛らしい宿よ』オペラ「リタ」より明るいアリアを1曲。宿屋の女将リタが自分の宿を自画自賛しながら高らかに歌う曲です。“自分の主人は私の言うことをよく聞くの♪”と早口で語る場面もあり、強気でお調子者なリタを表現できたらと思います。

休 憩

<第Ⅱ部>

特別企画～「スタジオジブリ」の世界～ 演奏 出演者全員

- (1) 海に見える街（魔女の宅急便）…尺八 井上 喜義 箏 山村 雅子
十七絃 井上 久子
(2) もののけ姫（もののけ姫）…歌 梶 圭子 ピアノ伴奏 桜井 智子
(3) 埴生の宿（火垂るの墓）…ピアノ独奏 吉川みくり
(4) 時には昔の話を（紅の豚）…歌 大河原敏雄 ピアノ伴奏 吉川みくり
(5) テルーの歌（ゲド戦記）…歌 小野寺汐莉 ピアノ伴奏 春川 直子
(6) 世界の約束～人生のメリーゴーランド（ハウルの動く城）…ピアノ独奏 桜井 智子
(7) カントリーロード（耳を澄ませば）…歌 小野寺汐莉 山村 雅子
ピアノ伴奏 春川 直子
(8) さんぽ…歌 出演者全員 ピアノ伴奏 小野寺汐莉



Profile(出演順)

井上喜義(尺八):20歳より尺八を松川利夫に師事。1982年NHKFM鈴木白韻師と「越後獅子」放送。二人のコンサート4回開催。2005年CD「夢」リリース。2010年袖ヶ浦市民会館にて「松川利夫の世界」開催。2011年ブラジルイタジャイ市公演。2012、2014年安来市「松川利夫を聴く知るコンサート」特別出演。2021年「松川利夫の人と作品」出版。現、千葉県三曲協会員、三曲睦会代表、船川邦楽研究所尺八師範。袖ヶ浦市在住。

井上久子(十七絃):箏を松川利夫に師事。二人のコンサート4回。2005年CD「夢」リリース。2010年袖ヶ浦市民会館にて井上喜義と「松川利夫の世界」開催。2011年イタジャイ市公演。2012、2014年安来市「松川利夫を聴く知るコンサート」特別出演。千葉県特別非常勤講師として3万名をこえる小中学生に授業。現、千葉県特別非常勤講師、三曲睦会会員、おこと楽坊・もみじ代表、船川邦楽研究所箏曲師範。袖ヶ浦市在住。

山村雅子(箏):3才の頃より母から箏を学ぶ。作曲家松川利夫の薫陶をうけ育つ。中・高・大学でトランペットを吹奏。金井敬に指揮の手ほどきを受ける。同氏主催の声楽アンサンブルメンバー。声楽を広瀬奈緒に学ぶ。2012年ヴェルディ「レクイエム」オーストリア公演に参加。複協奏曲ほか松川利夫作品を多数指揮。船川邦楽研究所箏曲師範。木更津市の小学校勤務。袖ヶ浦市在住。

梶圭子(ソプラノ):一時期女声合唱団「カリヨン」に所属、鈴木賀子先生の指導を受ける。15年前より声楽を学び始める。千葉のカルチャーでよい指導者に恵まれ現在に至る。声楽をオペラ歌手藤原歌劇団団員バスバリトン三浦克次・松本衣子・駕海由子に師事。主に千葉と東京で活動。木更津市在住。

桜井智子(ピアノ):神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻卒業。NHKラジオ「巣立つ新人」に出演。同年本学新人演奏会出演。現在オペラ歌手、声楽家の伴奏、声楽レッスンやコンクール・コンサートの伴奏を主に務めるかたわら、弦楽器、管楽器の伴奏も行っている。習志野市在住で習志野少女少女合唱団の指導も25年余りになる。ピアノを故壺野保太郎、井上初子、元濱綾子、故山田康子、山田富士子、服部真由子の各氏に師事。声楽を高橋典子、三浦克次の各氏に師事。(賛助出演)

大河原敏雄(テナー):早稲田大学在学中、ボニー・ジャックスを輩出した男声合唱団グリークラブに所属。1979年スイスで開かれた「ヨーロッパ音楽祭」に参加。1986年女声合唱団「アルテリーベ」を結成し、20数年間その指導にあたった。「かずさ音楽祭」の第九の合唱指導や、近隣の小・中学校の合唱指導にも携わる。金田中学校を退職後、近隣ホテル内チャペルでの演奏活動、いわねうたごえ喫茶等を行った。現在は君津市周西公民館長として勤務。

吉川みくり(ピアノ):武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。ピアノを故尾田綾子、岡野登与子、松田祐輔、声楽の伴奏法を坂本貴輝の各氏に師事。幕張テクノガーデン・アトリウムコンサート、明日を担う地元出身者達による名曲コンサート等出演。藝大オペラin君津「椿姫」「ラ・ボエーム」、君津市民オペラ「カルメン」の伴奏ピアニストを務める。音楽教室ピアチェーレ!講師。(賛助出演)

小野寺汐莉(ソプラノ):聖徳大学音楽学部音楽総合学科音楽教員養成コース卒業。同学部卒業演奏会出演。声楽を木村満壽美、星野行江の各氏に師事。アリエッタコンサート出演や、学校や老人ホームでのソロ演奏、千葉ロッテマリーンズ主催All for CHIBA in袖ヶ浦にて国歌を披露。かずさ声楽研究会会員。現在、君津市立中学校勤務。木更津市在住。

春川直子(ピアノ):武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。ピアノを故尾田綾子、平野郁夫、安孫子知子、声楽を星野行江、和声楽を川崎絵津夫、各氏に師事。ソリストとして東京音楽大学オーケストラと共演。ピアノ講師を経て、東京都で音楽科教諭として勤務。退職後はピアノ指導のかたわら数々のジョイントリサイタルに出演。現在、木更津市内の中学校に講師として勤務。(賛助出演)